

平成28年度第3回小坂井地区公共施設再編整備基本計画策定委員会

日 時 平成29年1月17日（火）
午後2時から

場 所 小坂井生涯学習会館 1階 集会室

1 開会

出席 委員10名、事務局（副市長含む）8名、傍聴5名

2 副市長挨拶

3 議事

（1）住民説明会等に関する報告について

事務局	（資料説明）
委員長	アンケート報告書 P4、Q1-3 居住地区のグラフについて、人口構成と対応しているか。
事務局	無作為抽出のため対応していないが、伊奈町が旧小坂井町の面積の半分以上を占めており、このような結果となる。また、小坂井地区は東小学校区、西小学校区に分かれているが、伊奈町はその両方にまたがっており校区で分けることも難しい。
委員長	クロス集計の結果について、相対的に地区ごとの傾向が固定化している印象を受ける。施設からの距離の問題なのか、住んでいる方の年齢層の問題なのか、結果の要因はどのように考えているか。
事務局	地区別では、比較的篠束町の数値が低くなっている。篠束町は旧豊川市との境に位置しており、小坂井地区の中でも旧豊川市に一番近い地区のため、旧豊川市の施設を利用される方が比較的多いと思われる。
委員長	豊橋市の「ミナクル」への視察の感想をいただきたい。
委員	図書館が良かった。広く、蔵書が増やせる余裕があった。子ども向けに本を選びやすい場所が確保されており、見やすいと感じた。アンケートや説明会の中で、本を増やして欲しいという意見があるため、何か工夫ができると良い。また、全体的に館内が明るかった。館内の明るさも大事だと思う。
委員	館内がとても明るく、住民の方々が集まりやすい印象を受けた。小さい子どもから高齢者まで、全ての方々に使いやすいスペースが揃った施設であると感じた。あのような施設が小坂井地区にできれば、今まで以上に利用が増えると思う。
委員	施設はコンパクトだが、ゆったりとした印象を受けた。豊川市のプランもコンパクトというコンセプトだが、面積に余裕がないとゆっくりくつろ

	げない。全体的に余裕のある施設にできたら良い。
委員長	明るくて、歩いていても圧迫感のない施設だと感じた。図書館の本棚は高すぎず、児童用の本棚は低めに作られていた。子どもが歩いて本を探しやすいよう工夫されていた。雑誌が非常に多く、待ち時間に雑誌をゆったり読める環境が良いと感じた。
委員	アンケート報告書について、「様々な世代との交流」という意見がいくつか出てくる。防災についても意見が多い。是非実現していただきたい。また、選挙時の投票所についても考慮していただきたい。

(2) (仮称) 小坂井地域交流会館機能構成・施設配置案について

事務局	(資料説明)
委員	生涯学習会館では、昨年秋からオープンカレッジの申し込みが増えている。地域の利用者が余裕を持って使えるように部屋数や面積を増やして欲しい。現在の面積と同等では足りなくなるので、吹き抜けを無くし、面積を確保した方が良い。吹き抜けを無くすことで140㎡程度の面積を増やすことができる。
事務局	今後、関係各課と調整しながらプラン案について検討していく。
委員	プラン案が最初から2階建てとなっていることが疑問である。日影などを配慮し、東側のみ2階とし、西側は3階建てとしても良いのではないかと。 資料4では、図書館の面積がおおよそ2倍となっている。しかし、現状から踏まえて、より充実した図書館機能にしなければ住民は納得しないと思う。 小坂井地区は交通の便が良いため、オープンカレッジで多くの方が生涯学習会館を利用している。一方で一般の利用者が会議室を借りる際、予約が難しい状況である。このような現状を踏まえて、この部屋数のままで良いのか疑問である。現状と同等の面積では、利用者は増えないと思う。
副市長	部屋数については、パーティションを設けてフレキシブルに使えるように配慮している。図書館については、実際に豊橋市の「ミナクル」を視察された方からも本の充実等の強い要望があるため、基本設計の中で検討していきたい。
委員	資料5に支所事務室とあるが、現在の小坂井支所では印刷機やテーブルが設置してあり、町内会は利用可能である。新施設でも設置して欲しい。
委員	線路を渡ってでも子どもに行かせたいと思う施設、ゆったりできる施設にしたい。アンケートからも小坂井地区周辺は道路が狭いなどの意見が多いが、道路を広くしたとしても、車の通行量だけが増えるようでは寂しい。歩行者に配慮された地区であれば、子どもも新しい施設へ行きやすいと思う。
委員	3階建てが難しいのは金額の問題か。

事務局	2階建てを提案したのは金額の問題ではない。多世代交流をコンセプトで考えており、高齢者の利用については、移動距離が少ない低層の方が適していること。プランについては、必要最低限で検討した結果、2階建てに収まったことなどから本案を提案している。
委員	図書館の本は豊橋市の「ミナクル」よりも少ない。吹き抜けを無くし、図書館機能の面積を確保すべきだと思う。住民は「ミナクル」のようなきれいな施設を要望している。図書館が一番重要で、会議室も重要である。待合ホールは、ホール・廊下と共用とし、集会室を広くして欲しい。
事務局	本案はたたき台としてご提示している。いただいたご意見に基づき修正案を作る。来年度は基本設計に進むため、さらに検討し、またご意見を聞きながら、完成形に近づけていきたい。

(3) (仮称) 小坂井地域交流会館事業手法、スケジュール等について

事務局	(資料説明)
委員	愛知県が貧困家庭向けの学習支援場所を県内へ4箇所設置するとのこと。西三河へは設置されるが、東三河には設置されない。今回の施設へ導入を検討してみてはどうか。
委員	より多くの方に利用されるような、利用しやすい施設が出来ればと思う。
委員長	子どもに読み聞かせなどができるじゅうたん等が敷いてあるスペースがあると、図書館の利用者も増えると思う。
委員	私は生涯学習会館、児童館はあまり使わない。図書館は豊川中央図書館を利用している。現在の小坂井図書館は利用しづらい。図書館を充実させていただきたい。

4 その他

事務局	第4回の策定委員会は2月13日(月)午後2時より小坂井生涯学習会館で開催を予定している。正式決定後、書面にて通知する。
委員長	以上で議事を終わる。

5 閉会

以上